

# 位置情報を活用した鳥獣被害防止対策システムへの取組

## － 電波利活用セミナーを開催 －



セミナー会場

北陸情報通信協議会では、平成27年10月19日、金沢市内の石川県政記念しいのき迎賓館において、北陸総合通信局との共催により、「電波利活用セミナー」を60名の参加を得て開催しました。

近年、野生鳥獣による農作物被害や人身被害の増加が社会問題になっていることから、鳥獣被害防止対策の行政の取組、先進取組事例、GPS位置情報を活用した動物位置検知システム及びドッグマーカーなどについて紹介し、あわせて機器展示を行いました。

今回のセミナーでは、まず、農林水産省北陸農政局農村環境課の田中聡係長から、鳥獣被害防止特措法に基づく緊急捕獲対策の活用やICTによる捕獲の効率化について紹介していただくとともに、鳥獣被害防止総合対策交付金によるソフト対策への支援策などを説明していただきました。

次に、神奈川県自然環境保全センター野生生物課の坂口裕佳氏から、電波発信器を活用したニホンザルの管理と被害対策について、捕獲方法や発信器をつけるサルの選定方法など分かりやすく解説していただきました。

サーキットデザイン（株）の永田修取締役営業部長からは、海外製も含めた動物用発信器の歴史のほか、運用中の動物位置検知システムについて、位置データを使いながら詳しく説明していただきました。続いて、古野電気（株）システム機器事業部企画室の古野直樹担当課長からは、巻き狩り猟でのGPSマーカー利用など銃猟の効率化に寄与する猟犬検知システムを紹介していただきました。

最後に、富山県立大学の岡田敏美名誉教授から、鳥獣被害防止対策には電波伝搬特性に優れたVHF帯GPS首輪によるテレメトリが有効であることを、「150MHz帯の電波を使用する登山者等の位置検知システムに関する調査検討会」等の検討結果に基づき説明していただきました。

セミナー参加者は、鳥獣被害防止対策への電波利活用について熱心に聴講していました。



主催者挨拶 北陸総合通信局  
星局長



神奈川県 野生生物課  
ワイルドライフレンジャー  
坂口 裕佳 氏



機器展示（動物位置検知システム）



富山県立大学  
名誉教授 岡田 敏美 氏